

雑穀類の優良品種と主要品種の播種期

農業センター

1 取り上げた理由

地域特産品となりうる作物として雑穀類の生産に関心が持たれている。そこで本県に適する品種を選定し、輪作体系に組み入れる上で重要な播種期の早・晩限等について主要品種を用いて検討した結果、その目安が得られたので参考資料とする。

2 参考資料

1) 雑穀類の優良品種,

雑穀名	優良品種・系統	栽培上の注意
ゴマ	黒ゴマ(長野系), 白ゴマ(埼玉01622), 茶ゴマ(長野系),	覆土は極薄めとする 成熟期に長雨が続き と穂発芽し易いので早 めに収穫する。
アマランサス	メキシコ, 白立穂, 白立穂先赤,	
ヒエ	飛騨在来, 赤ヒエ,	
アワ	虎の尾(糯種), 中国種(糯種),	
キビ	川井17(糯種), 宮城在来(糯種),	

2) 主要品種の播種の早・晩限

雑穀名	主要品種	播種期	
		早限	晩限
アマランサス	メキシコ	5月中旬	6月下旬
ヒエ	飛騨在来	5月中旬	6月下旬
アワ	虎の尾	5月中旬	6月中旬
キビ	川井17	5月中旬	6月中旬
	宮城在来	5月中旬	6月下旬

3 利活用の留意点

1) その他施肥法, 播種法等は慣行とする。

(問い合わせ先: 宮城県農業センター農産部 電話022-383-8119)

4 背景となった主要な試験研究

- 1) 研究課題名及び研究期間 地域特産物の選定と特性把握による栽培法の確立(H6～H10年度)
- 2) 参考データ

表一1 ゴマの有望品種・系統の生育及び収量調査結果(平成6年度～平成8年度3ヶ年度平均)

品種名	開花始期 (月・日)	成熟期 (月・日)	成熟期			子実重 (kg/a)	千粒重 (g)	L重 (g)
			草丈 (cm)	主茎朔果数 (個)	分枝数 (本/株)			
ゴマ 黒ゴマ	8/ 8	10/ 6	114.6	73.0	4.3	10.0	2.6	567
埼玉01622	8/15	10/18	110.8	158.0	4.8	23.2	3.2	645
茶ゴマ	8/16	10/14	119.3	74.1	3.4	17.5	2.7	636

※1 播種期 5月25日, 施肥量(窒素成分量kg/a) 基肥 - 0.2, 追肥 - 0.2,

※2 供試品種・系統数 黒ゴマ 9, 白ゴマ 10, 茶ゴマ 7,

表一2 雑穀別有望品種・系統の生育及び収量調査結果(平成6年度～平成8年度3ヶ年度平均)

作物名	品種 系統名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	成熟期			子実重 (kg/a)	千粒重 (g)	L重 (g)
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)			
アマゾン	メキシコ	8/ 3	9/24	201.5	64.5	12.5	13.4	0.88	875
サス	白立穂	8/11	9/23	196.7	56.9	12.5	11.4	0.79	-
	白立穂先赤	8/ 7	10/ 3	207.9	64.4	12.5	10.2	0.97	-
ヒエ	飛驒在来	8/22	9/23	155.6	19.5	78.9	16.8	4.8	547
	赤ヒエ	8/22	9/23	147.9	21.2	50.7	19.2	5.1	515
アワ	虎の尾	8/ 4	9/20	107.4	16.5	123.9	32.3	3.3	708
	中国種	8/ 7	9/20	75.2	16.1	91.1	21.5	2.9	727
キビ	宮城在来	8/ 4	9/20	136.2	44.3	82.2	30.1	6.6	685
	川井17	8/ 1	9/10	106.7	33.0	89.8	26.8	5.2	728

※1 播種期 5月25日,

※2 施肥量(窒素成分量kg/a) アマゾン基肥-0.5, ヒエ, 基肥-0.4, 追肥-0.2,
アワ, 基肥-0.1, 追肥-0.2, キビ 基肥-0.4, 追肥-0.3,

※3 アマゾンのメキシコ, ヒエの飛驒在来, アワの虎の尾, キビの2系統は平成10年度までの5ヶ年平均。

※4 アマゾンの稈長は草丈,

※5 供試品種・系統数 アマゾン 7, ヒエ 6, アワ 8, キビ 8,

表一3 雑穀の播種期別 収量比率(平成9年度～平成10年度の2ヶ年平均)

作物名	品種・系統	播種期						
		4月25日	5月 5日	5月15日	5月25日	6月 5日	6月15日	6月25日
アマゾン	メキシコ	125	78	122	(100)	100	101	88
ヒエ	飛驒在来	137	112	131	(100)	110	134	86
アワ	虎の尾	115	103	103	(100)	103	78	28
キビ	宮城在来	103	102	98	(100)	104	78	60
	川井17	100	85	81	(100)	79	65	39

- 3) 発表論文等 なし